第17講 「脱亜入欧」の達成と帝国主義
PART6 第一次世界大戦と国際平和体制

Chapter 1　第一次世界大戦と日本

目標
第一次世界大戦の背景を知ろう。
第一次世界大戦が「大正新時代の天佑」だったのはなぜだろう？

1　第一次世界大戦（1914～18年）

①背景→ヴィルヘルム２世率いる**ドイツの３Ｂ政策**と**イギリスの３Ｃ政策**

19 世紀末の欧州では，〔1　　　　　　　　〕（**ドイツ・オーストリア**・イタリア）と露仏同盟が勢力均衡方式で平和を保っていたが，20 世紀初頭に英仏協商と英露協商が結ばれ〔2　　　　　　　　〕（**イギリス・フランス・ロシア**）となり，均衡が崩れた。

※また，**「ヨーロッパの火薬庫」バルカン半島**をめぐる，
ドイツ・オーストリアの汎ゲルマン主義とロシアの汎スラブ主義も対立を深めた。

②〔3　　　　　　　　〕の開戦（**1914 年**）

セルビア人青年によるオーストリア帝位継承者夫妻暗殺の**サライェヴォ事件**が契機。

※**同盟国**（ドイツなど４か国）と**協商国**（イギリスに加え日本・イタリア・アメリカなど最終的に 27 か国の**連合国**）が，飛行機・戦車・潜水艦や毒ガスも使用して戦禍を広げ，各国の国民や産業が総動員される長期間の**総力戦**となった。

袁世凱

2　日本の大陸進出

①日本の参戦（1914 年）→元老の井上馨いわく「大正新時代の**天佑**」

名目は日英同盟を結ぶイギリスの援護，実情は大陸における権益拡大で，**第二次大隈重信内閣**（〔4　　　　　　　　〕**外相**）がドイツに宣戦布告。

※陸軍は**青島**を中心とする**山東半島**の膠州湾を占領。
海軍はサイパン・パラオなど**赤道以北のドイツ領南洋諸島**を占領。

②〔5　　　　　　　　〕（**1915 年**）→第１～５号に分かれる

１号は**山東省のドイツ権益継承**の承認。２号は**旅順・大連・南満州鉄道・安奉鉄道の租借期限を 99 年延長**，南満州・東部内蒙古の権益の承認。

３号は漢冶萍公司の日中共同経営。４号は中国沿岸の他国への不割譲。

５号は**中華民国政府への日本人顧問採用，警察の日中合同**

（これらは秘密の希望条項で**のち撤回**），福建省の他国への不割譲の再確認。

※〔6　　　　　　〕政権は内外に暴露して不当を訴え日本は国際的非難を浴びたが，

最後通牒を発し大部分を認めさせた。

中国では排日運動が激化，のち５月９日は国恥記念日に。

③〔7　　　　　　〕（1917 ～ 18 年）→袁世凱死後の北京政府を援助

寺内正毅首相は，私設秘書西原亀三を通じて北方軍閥の〔8　　　　　　〕に無担保で

巨額の借款を与え，中国を第一次世界大戦へ参戦させ日本の軍事的指導下に置こうとした。

④**石井・ランシング協定（1917 年）**→アメリカの第一次世界大戦参戦が契機

特派大使石井菊次郎と国務長官ランシングとの間で締結。日本の中国進出を警戒していた

アメリカは，参戦にあたり太平洋方面の安定を確保する必要があった。

※中国の領土保全・門戸開放と，日本の特殊権益を認める文書が交換された。

同年，日本はイギリス・フランスとも密約を交わし，講和会議対策とした。

⑤シベリアへの進出（1918 ～ 22 年）

A　〔9　　　　　　〕（1917 年）→ 1918 年に**第一次世界大戦から離脱**

三月革命で帝政が崩壊した後，〔10　　　　　　〕を中心とする労働者・兵士

による十一月革命が起こりソヴィエト政権が成立。**第四次日露協約は破棄**。

※ 1922 年，世界初の社会主義国家である**ソヴィエト社会主義共和国連邦**となる。

B　〔11　　　　　　〕（1918 ～ 20 年，日本のみ 22 年まで）

日本の目的は，ロシア革命への干渉，東部シベリア・北満州への勢力拡大。

チェコスロヴァキア軍団救出を名目に，アメリカ・イギリス・フランスらと共同出兵。

※列国が**対ソ干渉戦争**から手を引いた後も日本は駐兵を続け，

尼港〔ニコライエフスク〕事件（1920 年）が起こるなど形勢は悪化。

この年には**北樺太も占領**し，領土的野心を疑われ国際的非難も高まる。

まとめ

三国同盟と三国協商の対立が，第一次世界大戦開戦の背景だった。

日露戦争後の不景気と国内対立の解決が見込めたため，

第一次世界大戦開戦は，日本にとって「天佑」だった。

Chapter 2　ヴェルサイユ・ワシントン体制と日本

目標
ヴェルサイユ体制とは何だろう？
ワシントン体制とは何だろう？

1　ヴェルサイユ体制〔ヨーロッパの平和秩序〕

ウィルソン

①第一次世界大戦の終結（1918 年）

1917 年，イギリスの海上封鎖に苦しんだドイツが
無制限潜水艦作戦を始めたのを機に
〔1　　　　　　　　　　〕が参戦すると，連合国が一気に有利となった。
※アメリカ大統領〔2　　　　　　　　　　〕の**14 か条**をドイツが受け入れ，休戦。

②パリ講和会議による〔3　　　　　　　　　　〕**条約（1919 年，原敬内閣）**
日本全権は〔4　　　　　　　　　　〕と牧野伸顕。
フランスの主張により巨額の賠償金を課すなどドイツを過酷に制裁。
日本は山東省の旧ドイツ権益を継承，赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を獲得したが，人種差別撤廃案は米・英の反対により却下された。
※**民族自決**主義は東欧に限られ，**中国はヴェルサイユ条約の調印を拒否**。
1919 年に**三・一独立運動（朝鮮）**と**五・四運動（中国）**が起こるなど，
東アジアの排日運動は激化した。
※朝鮮では，従来の武断政治から文化政治への転換が図られた。

③〔5　　　　　　　　　　〕の成立（**1920 年**，本部＝スイスの**ジュネーヴ**）
アメリカ大統領ウィルソン（民主党）が設立を提唱。勢力均衡方式から集団安全保障方式へ転換したが，上院で共和党がヴェルサイユ条約を批准しなかったため加盟できず，
常任理事国は**イギリス・フランス・イタリア・日本**（のちドイツが加入）となった。
※日本の〔6　　　　　　　　　　〕が**初代事務次長**になり活躍。
※アメリカなど**大国の不参加**（ドイツ・ソ連は遅れて加盟），
全会一致制，武力制裁規定の欠如という問題点を抱えた。

2　ワシントン体制〔アジア・太平洋地域の平和秩序〕

①〔7　　　　　　　　　　〕**会議（1921 ～ 22 年，高橋是清内閣）**

アメリカ大統領**ハーディング**が提唱。日本全権は**加藤友三郎（海軍大臣）**,
徳川家達（貴族院議長），幣原喜重郎（駐米大使）。
※雑誌『東洋経済新報』の**石橋湛山**は政府に「小日本主義」を主張したが当然
採用されず。米・英に責められた日本は，**会議終了後にシベリア撤兵を宣言**した。

A 〔8 　　　　　　　　　　〕（**1921 年，米・英・日・仏**）
太平洋諸島の現状維持。これにより**第三次日英同盟協約は終了**（1923 年）。

B 〔9 　　　　　　　　　　〕（**1922 年，米・英・日・仏**・伊・蘭・葡・白・**中**）
中国の領土・主権の尊重と各国の経済上の門戸開放・機会均等を約束。
これにより日米間の**石井・ランシング協定は破棄**される（1923 年）
※会議の場を借りて米英の仲介の下に日中が交渉，日本は山東半島の旧ドイツ権益を
中国に返還することとなった（＝山東懸案解決条約）。

C **ワシントン海軍軍縮条約**（**1922 年，米・英・日・仏・伊**）
あ **主力艦**保有量の制限
※米・英＝５：日本＝３：仏・伊＝ 1.67。
い 以後 10 年間の主力艦建造を禁止

② 〔10 　　　　　　　　　　〕**体制**

A **対欧米**〔11 　　　　〕**外交**の展開
日本はアメリカを中心とする国際協調・軍備縮小の
ヴェルサイユ・ワシントン体制（＝“ パクス = アメリカーナ ”）を受け入れた。
※アメリカもウィルソン大統領（民主党）の理想主義的な外交から
ハーディング→クーリッジ→フーヴァー大統領（共和党）の現実主義的な
経済外交に方針を転換，1920 年代の日米の経済関係は良好だった。

B 中国との関係悪化
第一次国共合作（1924 年）の影響もあり，上海の在華紡における
五・三〇事件（1925 年）を契機に，中国全土に反日運動が広まる。

C 陸・海軍ともに軍備縮小を実施

まとめ
第一次世界大戦後のヨーロッパの平和秩序をヴェルサイユ体制という。
同じくアジア・太平洋地域の平和秩序をワシントン体制という。

第17講　PART6　確認問題

1　三国同盟を結んでいたのはどこか。

①　イギリス　②　フランス
③　ドイツ　④　ロシア

2　第一次世界大戦参戦にあたって，日本がドイツに宣戦布告した際の外相はだれか。

①　井上馨　②　大隈重信
③　加藤高明　④　寺内正毅

3　アメリカの第一次世界大戦参戦を契機として結ばれたのはどれか。

①　石井・ランシング協定　②　第四次日露協約
③　桂・タフト協定　④　山県・ロバノフ協定

4　ロシアで十一月革命を主導したのはだれか。

①　ウィッテ　②　レーニン
③　スターリン　④　プチャーチン

5　ヴェルサイユ条約が結ばれたときの内閣はどれか。

①　原敬内閣　②　高橋是清内閣
③　加藤高明内閣　④　西園寺公望内閣

6 国際連盟の初代事務次長に就任したのはだれか。

① 内村鑑三　② 大隈重信
③ 石橋湛山　④ 新渡戸稲造

7 ワシントン会議を提唱したアメリカ大統領はだれか。

① フーヴァー　② ウィルソン
③ クーリッジ　④ ハーディング

8 四カ国条約の成立で終了したのはどれか。

① 桂・タフト協定　② 第三次日英同盟協約
③ 石井・ランシング協定　④ 第四次日露協商

第 17 講　PART6　確認問題 解答

1 解答：③　**三国同盟**はドイツ・オーストリア・イタリア，**三国協商**はイギリス・フランス・ロシアからなる。

2 解答：③　**加藤高明**は第二次大隈重信内閣の外相。

3 解答：①　**石井・ランシング協定**は，特派大使石井菊次郎とアメリカの国務長官ランシングとの間で締結され，中国の領土保全・門戸開放と日本の特殊権益を認める文書が交換された。

4 解答：②　**レーニン**はソヴィエト政権を成立させた。1922 年には，世界初の社会主義国家である**ソヴィエト社会主義共和国連邦**となった。

5 解答：①　パリ講和会議によりヴェルサイユ条約が結ばれたのは 1919 年で，日本全権は**西園寺公望**と牧野伸顕が務めた。

6 解答：④　**新渡戸稲造**は，内村鑑三らとともに札幌農学校でキリスト教に入信した。京都帝国大学教授や東京帝国大学教授などを歴任した後，**国際連盟事務次長**として活躍した。

7 解答：④　②の**ウィルソン大統領**は，国際連盟設立を提唱した。

8 解答：②　**四カ国条約**は米・英・日・仏間で締結された条約で，太平洋諸島の現状維持などが決められた。③の石井・ランシング協定は**九カ国条約**で破棄された。